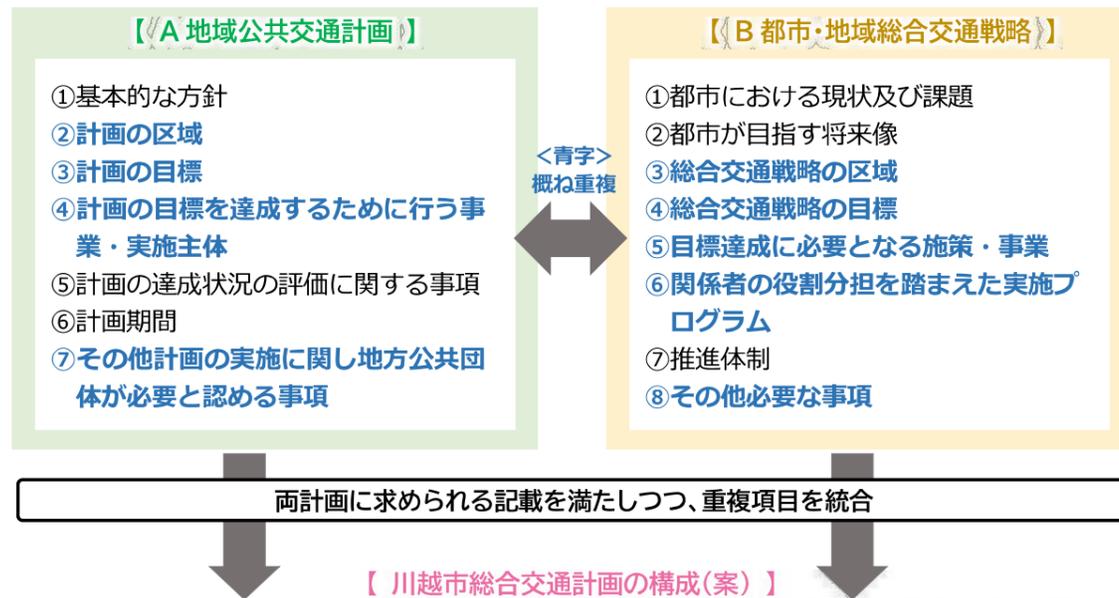


# 川越市総合交通計画の方向性について

- ・地域公共交通計画は「**地域公共交通計画等の作成と運用の手引き**」、都市・地域総合交通戦略は「**都市・地域総合交通戦略のすすめ～総合交通戦略策定の手引き～**」において、**両計画で記載が求められる事項が示されています。**
- ・両計画で記載が求められる事項は、以下のとおりであり、**多くの項目での重複がみられます。**そのため、**重複する事項を統合するとともに、求められる事項を網羅した計画書として、以下の構成を想定**します。

## 【 両計画で記載が求められる事項 】



## 【 川越市総合交通計画の構成(案) 】

序章 計画概要	計画の概要、役割・趣旨、位置づけ、計画区域、計画期間等を示す (A②⑥・B③対応)
第1章 現状・課題	都市の現状と課題を示す (B①対応)
第2章 将来都市像	目指す将来都市像(目指すべき都市と交通のあり方)を示す (B②対応)
第3章 基本方針・基本目標	将来都市像を実現するための基本方針と基本目標を示す (A①③・B④対応)
第4章 基本目標達成のための施策	基本目標を達成するための具体的な施策、実施主体、事業スケジュール等を示す (A④・B⑤⑥対応)
第5章 進行管理	計画の進捗状況を測る評価指標や目標値、推進体制を示す (A⑤・B⑦対応)

## 【 目指す将来都市像の構成イメージ 】



## 目指す交通の将来像

**①基本的な考え方**

『移動しやすさが 暮らしやすさ・川越の魅力につながる 交通まちづくり』(仮)

上位関連計画に示される考え方(骨格構造、まちづくりと交通の関連性等)、本計画で位置付ける基本目標や基本方針の概念等をイラストで表現する想定

**②目指す交通ネットワーク**

●公共交通と道路計画の方針等を重ね合わせ、具体の姿をイメージ

【公共交通の要素】  
立地適正化計画  
連携施策 基本方針図

【道路の要素】  
都市計画マスタープラン  
道路体系の整備方針図

**③目指す交通の役割分担**

●交通の役割分担を、「利用対象(利用者の質)」、「輸送力(利用者の量)」の両面から整理

《対象》

- ・自家用車・鉄道・路線バス・タクシー
- ・川越シャトル・デマンド型交通かわまる
- ・移動に関する福祉施策
- ・新たに検討する民間輸送資源活用等

今後、各交通の棲み分けや連携等を整理

縦軸は利用対象の観点で役割を整理

利用者不特定 → 利用者特定 (狭)

利用者不特定: タクシー, 鉄道

利用者特定: 路線バス, 川越シャトル, デマンド型交通かわまる, 施設等の送迎サービス, 許可・登録を要しない運送, 福祉タクシー

横軸は輸送力の観点で役割を整理

利用者不特定 → 利用者特定 (狭)

利用者不特定: 個別輸送

利用者特定: 乗合輸送

利用者不特定 → 利用者特定 (狭)

利用者不特定: 小

利用者特定: 大

# 主な現況と課題

「地域公共交通計画」「都市・地域総合交通戦略」の区分で、川越市の交通にかかわる現況と課題を整理します。

## 【 交通にかかわる主な現況と課題 】

**川越市の交通にかかわる現況と課題を  
以下の調査で把握**

**①現状分析**

- 社会情勢等
  - ・社会情勢
  - ・交通技術
  - ・法令
- 地域の特性
  - ・人口
  - ・主要施設
  - ・土地利用
  - ・交通基盤
  - ・移動実態
- 市内の移動手段の現状
  - ・鉄道
  - ・バス
  - ・タクシー
  - ・川越シャトル
  - ・かわまる（デマンド型交通）
  - ・移動に関する福祉施策（重度心身障害者福祉タクシー利用券等）
  - ・民間の輸送資源
  - ・自転車シェアリング
- 類似自治体の移動手段の現状

**②上位・関連計画と本計画の位置づけの整理**

- ・第五次川越市総合計画
- ・川越市都市計画マスタープラン
- ・川越市立地適正化計画
- ・みんなで作る 福祉のまち川越プラン 等

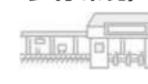
**③公共交通に関する意向調査**

- ・18歳以上の市民3,000人を対象に実施
- ・12地域ごと250人を無作為抽出
- ※調査票案は資料●参照

**④ヒアリング調査**

- ・交通事業者、関係団体を対象に実施



		現況	課題
地域公共交通計画 関連	主にソフト (路線) 	(公共交通ネットワークについて)	・
		・	・
		(公共交通利便性の低いエリアについて)	・
		・	・
都市・地域総合交通戦略 関連	主にハード (駅前広場・乗継拠点、周辺の歩行環境) 	(役割分担について)	・
		・	・
		(乗務員不足について)	・
		・	・
2計画共通	主にハード (道路) 	(拠点等の交通基盤整備について)	・
		・	・
		(拠点間等をつなぐ道路ネットワークについて)	・
		・	・
2計画共通	主にソフト (利用促進)	(産業を支える道路ネットワークについて)	・
		・	・
2計画共通	主にソフト (情報発信)	(公共交通利用促進について)	・
		・	・
2計画共通	主にソフト (情報発信)	(情報発信等について)	・
		・	・



地域毎の現況・課題を今後分析・整理予定 ※作成イメージは次頁参照

## 地域別カルテ 作成イメージ

※カルテ中の記載は例示として古谷地域に関する内容を整理

### 地域概況

- 【位置】本市の東部に位置し、国道 16 号を介してさいたま市方面からの玄関口となる地区である。
- 【地形】なだらかな低地が広がり、東側は入間川や荒川の広い流域に接する。
- 【土地利用】優良農地が広がる市街化調整区域となっており、古くからの田園住宅地が広がっているほか川越グリーンパークが立地している。
- 【人口】地域人口は 10,518 人（全市に占める割合 ●%）である。老年人口は●●人で、高齢化率は 32.2%であり、市平均と比較して高い。

#### 一覧で整理を想定

- 【都市機能】グリーンパーク以外は商業施設へ 300m圏外である。医療施設は北側に隣接して埼玉医大が立地している。
- 【拠点】最寄りの拠点設定箇所は「南古谷駅周辺」である。

### 交通基盤

- ・地区の主要な幹線道路である国道 16 号では、朝夕等に渋滞が発生し、これに伴う生活道路への車両流入が見られます。

《道路整備の状況》

#### 道路網図を作成

### 公共交通ネットワーク

- ・地域内に鉄道駅はなく、最寄り駅は JR 川越線の南古谷駅となり、地域のごく一部が南古谷駅の徒歩利用圏域に含まれている。
- ・路線バスは、本川越駅及び川越駅と川越グリーンパークを結ぶ路線がある。
- ・川越シャトルは、南古谷駅と埼玉医大を南北に経由する 40 系統と 41 系統がある。
- ・かわまるは、地区 1 に属する。

#### 人口分布、施設立地、公共交通ネットワーク、シェアサイクル、その他輸送資源の重ね図を作成

## 移動特性

### ● 移動手段

- ・ 代表交通手段
- ・ 主に利用する鉄道駅
- ・ 鉄道駅への移動手段
- ・ 川越シャトルの利用状況
- ・ かわまるの利用状況 等

### ● 地域内の移動状況

- ・ 地域内の人の動き（発生・集中）
- ・ 目的別の外出方面 等

## 住民意向

### ● 市民意向

- ・ 道路交通体系の整備に対する満足度・重要度
- ・ 公共交通ネットワークの充実に対する満足度・重要度
- ・ 公共交通の今後のあり方（市が力を入れるべきもの）
- ・ 新たな移動手段の導入意向
- ・ 自ら協力できること
- ・ 各移動手段のサービス水準の許容範囲
- ・ 運転免許証の自主返納意向 等

## 地域の現状・問題点及び課題

	地域の現状・問題点		地域の課題
地域公共交通 計画関連		→	
都市・地域 総合交通戦略 関連		→	
2計画共通		→	